

IV 埼玉みずほ台キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2011（平成23年度） 国際コミュニケーション学部 学年暦〔前学期〕

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木
					履修DROP用紙配布開始 公開授業参観実施期間開始		履修DROP用紙提出期間 授業アンケート実施期間終了				前期再試験(過年度生) 履修登録開始
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月
	全教員会		祝日〔こどもの日〕						前期授業最終日		履修登録締切
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土	6	火
			全学年履修変更開始 1年履修確認表配布						入試(A0学園傘下特別)		前期再試験評価締切 (過年度生)
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水
					GPA昼食懇談会				オープンキャンパス(第5回)		後期集中講義
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	8	木
							孟蘭盆会 午前休講		前期集中講義 追試験申込締切		後期集中講義 成績問合せ締切
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金
							TOEIC IPテスト (文化1・2年英語特別クラス)		前期集中講義		後期集中講義
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土
									前期集中講義		後期集中講義
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日
	2~4年履修登録開始								前期集中講義		オープンキャンパス(第8回)
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月
			全学年履修変更締切 履修者6名未満休講科目決定						成績評価締切 追試験時間割発表		
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火
			降誕会 午後休講								全教員会 ゼミ別履修指導(全学生登校) 履修確認表配布 履修登録訂正 履修者6名未満休講科目決定 4年生履修制限緩和と登録締切
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水
			新入生交流会								
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木
							公開授業成果報告書提出日 (6月実施分)		追試験		
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火	16	金
			授業アンケート実施日調査開始						追試験		後期授業開始
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土
											入試(A09月)
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日
					学園建学式・ 教職員特別研修会		通常授業【海の日】 授業アンケート結果フィードバック期間 開始				
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	19	月
	2~4年履修登録締切										通常授業【敬老の日】
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	20	火
			履修登録用紙提出締切		授業アンケート実施期間開始						
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水
	1年リイン(1日目) 2年・4年健康診断								追試験評価締切		
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木
	1年リイン(2日目) 編入生リイン 1年・3年・編入生健康診断										
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	23	金
	1年リイン(3日目) 〔創立記念日〕						海の日 振替休日				通常授業【秋分の日】 履修変更開始
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土
							オープンキャンパス(第3回) ホームcomingデー 12期生の卒業を祝う会		入試(A08月)		GPA成績不振者面接
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日
	前期授業開始 2~4年履修確認表配布								過年度生成績発表(Web)		
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月
	教職員健康診断 4年生履修制限緩和と登録締切				オープンキャンパス(第2回)				前期再試験申込締切 (過年度生)		
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	27	火
			授業アンケート実施日調査終了						オープンキャンパス(第6回)		
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水
			協賛会総会						オープンキャンパス(第7回)		
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	29	木
	通常授業【昭和の日】 1年履修登録締切		オープンキャンパス(第1回)				授業アンケート結果フィードバック期間終了				履修変更締切
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	金
	創立記念日振替休日				履修DROP用紙提出期間 公開授業参観実施期間終了				前期再試験時間割発表 (過年度生)		
31	日	31	火	31	日	31	日	31	水	31	水
			GPA表彰式				オープンキャンパス(第4回)		1~4年成績発表(Web)		

2011 (平成23年度) 国際コミュニケーション学部 学年暦 [後学期]

10月		11月		12月		1月		2月		3月					
1	土		履修DROP用紙配布開始 GPA昼食懇談会 授業アンケート実施日調査終了 公開授業参観実施期間開始	1	木		1	日	祝日 [元旦]	1	水	追試験申込締切	1	木	再試験(4年生) 入試(C方式、A03月I期)
2	日	オープンキャンパス(第9回)		2	金		2	月	元旦振替休日	2	木		2	金	再試験(4年生)
3	月		祝日 [文化の日] 入試 (指定校①、 傘下[淑・巣鴨])	3	土	入試 (指定校②、公募推薦②、 社会人・帰国生徒12月、 A012月、外国人12月、 編入学12月)	3	火		3	金	入試(A方式)	3	土	
4	火			4	日		4	水		4	土	入試(A方式)	4	日	
5	水		入試 (推薦B、公募推薦①、 A011月)	5	土	入試(傘下[与野])	5	木	リーグ-スキャン	5	日	入試(A方式)	5	月	
6	木	履修登録用紙提出締切		6	日	成道会 午前休講	6	金	リーグ-スキャン	6	月	追試験時間割発表	6	火	
7	金			7	月		7	土	TOEIC IPテスト (文化1・2年英語特別クラス)	7	火	成績評価締切	7	水	再試験評価締切(4年生)
8	土			8	火	授業アンケート実施期間終了	8	日		8	水	追試験	8	木	
9	日			9	水	卒業論文提出締切	9	月	祝日 [成人の日]	9	木	追試験	9	金	
10	月	通常授業 [体育の日]		10	木	CASEC英語習熟度試験 (全1年生)	10	火	授業開始	10	金		10	土	スプリングセミナー 新入生CASEC英語習熟度試験
11	火			11	金		11	水		11	土	祝日 [建国記念の日]	11	日	
12	水			12	土		12	木	定期試験時間割発表	12	日		12	月	入試(A03月II期)
13	木			13	日		13	金	センター入試準備日	13	月		13	火	
14	金	授業アンケート実施日調査開始		14	水		14	土	センター入試	14	火	追試験評価締切	14	水	1～3年成績発表(Web)
15	土	入試(A010月)		15	木	公開授業成果報告書提出日 (11月実施分)	15	日	センター入試	15	水		15	木	
16	日			16	金		16	月		16	木		16	金	
17	月			17	土	ウィンターセミナー	17	火		17	金		17	土	卒業式
18	火	GPA表彰式		18	日		18	水		18	土	入試 (社会人・帰国生徒2月、 A02月、編入学2月)	18	日	
19	水			19	月		19	木		19	日		19	月	
20	木			20	火	ジョブフェア 午後休講	20	金		20	月		20	火	祝日 [春分の日]
21	金	敬老の日振替休日		21	水	履修DROP用紙提出期間	21	土	入試(A01月)	21	火	教授会(卒業判定)	21	水	入試(A03月III期)
22	土	淑徳祭 オープンキャンパス(第10回)		22	木	履修DROP用紙提出期間	22	日		22	水	4年生成績発表	22	木	成績問合せ締切
23	日	淑徳祭 オープンキャンパス(第11回) 保護者懇談会		23	金	通常授業 [天皇誕生日] 授業アンケート結果フィードバック期間 開始	23	月	授業アンケート結果フィードバック期間終了	23	木	再試験願受付締切日(4年生)	23	金	
24	月	秋分の日振替休日		24	土		24	火		24	金		24	土	GPA成績不振者面接
25	火	体育の日振替休日		25	日	授業アンケート実施期間開始	25	水	定期試験	25	土		25	日	オープンキャンパス(第13回)
26	水			26	月	天皇誕生日振替休日	26	木	定期試験	26	日		26	月	
27	木			27	火	オープンキャンパス(第12回)	27	金	定期試験	27	月	再試験時間割発表(4年生)	27	火	
28	金			28	水		28	土		28	火		28	水	
29	土			29	木		29	日		29	水		29	木	
30	日		公開授業参観実施期間終了	30	金		30	月	定期試験	30	土		30	金	
31	月			31	土		31	火	定期試験	31	日		31	土	

2011（平成23年度） 大学院 国際経営・文化研究科 学年暦 〔前学期〕

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		
1	金	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木	前期修了者修士論文 提出締切
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金	
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土	修論中間発表会【文化】
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日	
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月	
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土	6	火	前期授業最終日
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水	
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	8	木	前期集中講義
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金	前期集中講義
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土	前期集中講義
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日	前期集中講義
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月	
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火	履修変更締切 〔降誕会・午後〕
14	木	14	土	14	火	14	木	14	日	14	水	
15	金	15	日	15	水	15	金	15	月	15	木	
16	土	16	月	16	木	16	土	16	火	16	金	後期講義開始
17	日	17	火	17	金	17	日	17	水	17	土	修論題目届締切【2年】
18	月	18	水	18	土	18	月	18	木	18	日	通常授業【海の日】
19	火	19	木	19	日	19	火	19	金	19	月	通常授業【敬老の日】
20	水	20	金	20	月	20	水	20	土	20	火	
21	木	21	土	21	火	21	木	21	日	21	水	オリエンテーション【1年生・研究生】
22	金	22	日	22	水	22	金	22	月	22	木	オリエンテーション【2年生】 健康診断【1・2年生・研究生】
23	土	23	月	23	木	23	土	23	火	23	金	前期授業開始 〔創立記念日〕
24	日	24	火	24	金	24	日	24	水	24	土	通常授業【秋分の日】 履修登録締切
25	月	25	水	25	土	25	月	25	木	25	日	
26	火	26	木	26	日	26	火	26	金	26	月	
27	水	27	金	27	月	27	水	27	土	27	火	
28	木	28	土	28	火	28	木	28	日	28	水	
29	金	29	日	29	水	29	金	29	月	29	木	通常授業【昭和の日】
30	土	30	月	30	木	30	土	30	火	30	金	創立記念日振替休日
		31	火			31	日	31	水			履修変更締切
												成績発表【送付】

2011（平成23年度） 大学院 国際経営・文化研究科 学年暦〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月							
1	土	修論中間発表会【経営】	1	火		1	木		1	日	祝日【元日】冬期休業	1	水		1	木	
2	日		2	水		2	金		2	月	元日 振替休日	2	木		2	金	保存用修士論文提出締切
3	月		3	木	祝日【文化の日】	3	土	大学院Ⅱ期入試	3	火		3	金	(学部入試)	3	土	第2回研究生選考
4	火		4	金		4	日		4	水		4	土	(学部入試)	4	日	
5	水		5	土		5	月		5	木		5	日	(学部入試)	5	月	
6	木		6	日		6	火	[成道会・午前]	6	金		6	月	修士最終試験	6	火	
7	金		7	月		7	水		7	土		7	火		7	水	
8	土		8	火		8	木		8	日		8	水		8	木	
9	日		9	水		9	金		9	月	祝日【成人の日】	9	木		9	金	
10	月	通常授業【体育の日】	10	木		10	土	第1回研究生選考	10	火	授業開始	10	金		10	土	
11	火		11	金		11	日		11	水		11	土	祝日【建国記念の日】	11	日	
12	水		12	土		12	月		12	木		12	日		12	月	1年成績発表【送付】
13	木		13	日		13	火		13	金	(センター入試準備日)	13	月		13	火	
14	金		14	月		14	水		14	土	(センター入試)	14	火		14	水	
15	土	大学院Ⅰ期入試	15	火		15	木		15	日	(センター入試)	15	水		15	木	
16	日		16	水		16	金		16	月		16	木		16	金	
17	月		17	木		17	土		17	火		17	金		17	土	学位記授与式
18	火		18	金		18	日		18	水	修士論文提出締切	18	土		18	日	
19	水		19	土		19	月		19	木		19	日		19	月	
20	木		20	日		20	火		20	金		20	月		20	火	
21	金	敬老の日振替休日	21	月		21	水		21	土		21	火	研究科委員会【修了判定】	21	水	祝日【春分の日】
22	土	淑徳祭	22	火		22	木		22	日		22	水	2年生成績発表【学内にて】	22	木	
23	日	淑徳祭（保護者懇談会）	23	水	祝日【勤労感謝の日】	23	金	通常授業【天皇誕生日】	23	月	後期授業最終日 修論計画届締切【1年】	23	木		23	金	
24	月	秋分の日振替休日	24	木		24	土		24	火	後期集中講義・論文審査	24	金		24	土	
25	火	体育の日振替休日	25	金		25	日	冬期休業	25	水	後期集中講義・論文審査	25	土	大学院Ⅲ期入試	25	日	
26	水		26	土		26	月	天皇誕生日 振替休日	26	木	後期集中講義・論文審査	26	日		26	月	
27	木		27	日		27	火		27	金	後期集中講義・論文審査	27	月		27	火	
28	金	修論題目変更届締切【2年】	28	月		28	水		28	土	後期集中講義・論文審査	28	火		28	水	
29	土		29	火	(ｼﾞｮﾌﾞﾌｪｱ・午後)	29	木		29	日		29	水		29	木	
30	日		30	水		30	金		30	月	後期集中講義・論文審査				30	金	
31	月					31	土								31	土	

## 2 教育活動

### ・学部・学科・専攻の教育目標・方針の明確化

昨年度より掲げられていた本学部の課題である、①入学者数確保の必要性→募集活動の強化、②退学・除籍者の低減の必要性→教育方法・教員のかかわり方の見直し・向上、③就職希望学生の就職率向上の必要性→就職への動機付け教育と就職活動支援の強化、の3点を引き続き取り組むと共に、以下に示された学部長の所信表明を学部全体で共有化し具現化して行くこととなった。

### ・学部長所信表明内容（平成23年4月臨時教授会資料より一部抜粋）

#### 「教育姿勢の具体化（方法論へ）は教員の使命」

##### (1) 教育姿勢のない方法論は意味がない

「基礎演習Ⅰ」の例を挙げると、何のために基礎演習Ⅰを行なうのか、初年次の修学支援の必要性の議論なくして、単に「自立学習シート」という手段を議論することは基礎のない上に家を建てるようなもの。全教員に、上記の姿勢を持っていただき、それに照らして具体的な方法を選択し、実行してほしい。

##### (2) 学生のニーズを汲み取り、それに応じる教育を

「はじめに教育ありきではなく、はじめに学生ありき」。学生の授業内容の理解が不十分なのは、「学生の問題」と片付けずに「教え方の問題」として教員自らが振り返り、問題を捉えなおす必要がある。

##### (3) 学生の利益の優先

教育研究、学部運営等、さまざまな取り組みを進めていく際に、どう判断したらよいか迷ったときの判断基準としては、「学生にとって必要なこと。学生にとって有益なること」という、学生第一、学生中心に考え実行していく。

### ・学科・専攻の教育目標・方針

#### 人間環境学科

学士課程教育の構築に向けて、各コース、専攻の教育目標を下記に示すように明確にし、「人間環境学」の概念である持続可能な福祉社会を実現していくための基礎的な考え方、「環境」「福祉」「健康・スポーツ」「教育」の4本柱の視点を取り入れた授業が展開できるように教員相互の理解を図った。

#### 人間環境専攻

地球規模での視野のもとに、世界の様々な人びととともに、環境問題や高齢化社会の課題など、人間を取り巻く様々な環境における多様な問題や課題を科学的に考察し解決してゆくことのできる人材の育成。

#### こども教育専攻

対人コミュニケーション、食育、自然探索、環境、世界の教育、学級経営などの教育現場の課題を学び、学校現場での実習を通して、子どもたちの幸せを考え、子どもたちと共に成長していく実践的指導力を持った小学校教員、幼稚園教員の養成を目指す。

#### 人間環境専攻コースの教育目的

##### スポーツ健康コース

スポーツや健康についての専門知識、技術を科学的体系的に学習することによって、身体と心の健康を重視し、健常者だけでなく社会的弱者である高齢者や幼児、さまざま

まな障がいのある人たちへの理解と共感を持った各種の指導員などの人材育成を目指す。

#### **社会福祉コース**

4年間で社会福祉士の国家試験受験資格を目指すコースです。相手の立場を理解し尊重できる「福祉マインド」を持ち、いかなる分野でも社会に貢献できる人材育成を目指し、充実した現場実習と実践に役立つ講義・演習を展開していく。

#### **観光エコツーリズムコース**

自然を愛し、アウトドアライフをエンジョイし、地域が安全で美しく魅力的になること、いろいろな人との交流が深まること、そして地球環境が改善されることを望む若者のコースである。これからのライフスタイルを提案し、旅づくり、社会づくりを模索する。

#### **共生教育実践コース**

地球環境問題を視野に入れ、人・社会・自然との共生を目指し、教育対象を深く理解し、お互いの創造性を喚起し、共に成長していけるように「共に生き、共に感じ、共に考え、共に育つ」ことのできる学校教員や企業、地域の人材開発担当者を育成する。

### **経営コミュニケーション学科**

企業の利害関係者ばかりでなく、社会全体の共生をベースとして、世界経済の発展を視野に入れた、経営に関する諸理論及び諸技術を修得した人材の育成。

#### **経営コミュニケーション学科の各コースの教育目的**

##### **経営コミュニケーションコース**

変化する経営環境に柔軟に対応できる経営や会計に関する基礎知識をしっかりと習得し、様々な人々や消費者・従業員・取引先・株主・地域社会・国・地球環境などの利害関係者と協働できるコミュニケーション能力を持った人材を育成する。

##### **観光ビジネスコース**

「観光」をビジネスの視点から学び、旅行、ホテル、航空、鉄道、テーマパークなどで働く観光ビジネスのスペシャリストを育成するコースです。またブライダル、エンターテイメントやイベントなどホスピタリティ・マインドを必要とするサービス産業もビジネスの視点から学ぶ。

##### **スポーツビジネスコース**

近年注目されている産業に「スポーツビジネス」があります。その中にはスポーツクラブの運営から、イベントの開催、用具の生産販売など様々な業種が含まれる。このコースでは、スポーツの経験を仕事に活かしたい人、スポーツビジネスの世界で活躍したい人に適したコースである。

### **文化コミュニケーション学科**

ボーダーレス時代に多文化間のコーディネートを行い、これからの国際文化交流における諸問題に実践的に対応できる資質と能力を持った人材の育成、コミュニケーションの世界的広がりを通じて異文化との共生を促進しうるとともに、世界の継続的発展かつ福祉充実の実現に寄与しうるような人材。

## 文化コミュニケーション学科の各コースの教育目的

### 英語コミュニケーションコース

世界へはばたくパスポート「使える英語」、そして“英語で学び”、世界に通用する英語コミュニケーションを養成する。「共生」をテーマに、ライフデザインに合わせて学べる、英語スキル系、英米文化教養系科目、英語教員系科目。さらに英語で学ぶ「コンテンツ英語」等によって構成される。

### 歴史文化コース

日本、アジア、ヨーロッパの歴史を幅広く学ぶコースです。実践重視の立場から、国内外各地へのフィールドワークを積極的に行う。学生の社会人としての解決能力の育成をめざし、広く、国際実業人への飛躍を全力で応援する。

### 中国語・中国文化コース

北京オリンピック、上海万博など世界を舞台に活躍する中国。日本は中国との交流を通して独自の文化を形成してきた。グローバル化が進む現在、隣人パートナーである中国の歴史や文化を学び、中国に対する理解を深めて、国際社会に飛躍できる国際実業人を育成する。

### 日本語・日本文化コース

日本語の成立から今日までの変遷過程、および日本語文化の真髄である日本文学を文化史的に追究するとともに、現代社会での役割についても考える。また、国際社会にあって日本文化がどのような存在意義を持っているのかを、比較文化の視点から学習する。

### 観光文化コース

21世紀は「観光の時代」。観光を世界の文化や歴史、あるいはコミュニケーションの視点から実践的に学び、4年間で身につけた異文化間コミュニケーション力を活かして、グローバルに活躍できる国際実業人を育成する。

### レクリエーション文化コース

本来「レクリエーション」とは、スポーツ、ダンス、芸術的活動、旅行、自然探究等の自発的、創造的な文化活動のことである。このような文化活動を通じて、生活の質的向上を図り、健康で充実した生涯を送るための理論と実践の修得をめざす。

## ・今年度を実施したFD・修学支援内容

### 1) 演習科目の活動内容等の成果発表

在学生に、学園祭でのゼミ内容発表、卒業研究成果発表等を義務づけることによって、学力の向上を目指すとともに、外部に対しても教育成果発表を定期的に行っていることを周知し、あわせて教員のFDの一環とすることを目的とする。なお、関連した取り組みとして、卒業論文・制作コンテスト（第4回）、学生懸賞論文・エッセイコンテスト、DC Award 2011（旧HP Award）、スピーチコンテスト等も実施されている。

### 2) 授業FDの一環として授業公開を実施した。

### 3) 年2回実施の全教員会において、教育課程および教育の課題となっている内容を中心に分科会を実施し、その結果をFD報告書に掲載した。

### 4) 学内にてFD研修会を5/31と2/21の2回実施した。

### 5) 修学支援体制

学生総合相談支援室を拠点に、職員4名、キャンパスソーシャルワーカー1名、臨床

心理士2名を中心に学生の修学支援の提供を実施した。また、自立学習シートについては対象学年を1、2年生に拡大してアドバイザーの個別指導や学習支援センターのサポートに活用した。

6) ハラスメント対応体制の整備

平成22年度より整備されたガイドラインや改訂されたハラスメント防止規程をふまえ、各教職員がハラスメントに対する理解を深めその防止や対応に役立てることができるよう2回の研修を実施した。

7) 教員評価制度の運用

前年度までの実施内容を大幅に見直し、大学として新たに以下の通りの評価表にWeb上から各教職員が数値を入力するという形で実施された。

評価表

評価表

学部	
学科	
教員名	

<b>教育評価</b>						
<b>担当授業</b>						
学外実習無し						
	項目	コマ数・評価	基本	係数	評価点	
全学	授業担当数		1	1.33	0.00	
					評価点計	0.00
学外実習有り						
	項目	コマ数・評価	基本	係数	評価点	
看護	授業担当数		1	1.33	0.00	
	実習			2.66	0.00	
					評価点計	0
看護以外	授業担当数		1	1.33	0.00	
	実習			0.66	0.00	
					評価点計	0
<b>授業アンケート</b>						
	学期	アンケートの平均	基本	係数	評価点	
	前期		0~5	1.2	0	
	後期		0~5	1.2	0	
					評価点計	0
<b>授業アンケート・FD</b>						
	欠席回数	基本	係数	評価点		
		4	0.5		4	
					評価点計	4
<b>FD</b>						
	評価	基本	係数	評価点		
		0~4	1.5		0	
					評価点計	0
<b>学生支援</b>						
	評価	基本	係数	評価点		
		0~4	2		0	
					評価点計	0
<b>教育評価計</b>						
	学外実習無し			評価計	0	
	学外実習有り	看護		評価計	0	
	学外実習有り	看護以外		評価計	0	

<b>研究評価</b>						
<b>研究評価</b>						
	研究評価	基本		評価点		
		0~5				
					評価点	

評価表

社会貢献活動				
<b>公共団体</b>				
	項目	委員長・座長	委員	評価点
	国			0
	都道府県			0
	市区町村			0
	評価点計			0
<b>産学連携</b>				
	評価	基本		評価点
	評価点計			
<b>公開講座</b>				
	項目	回数	基本	評価点
	大学エクステンション		1	0
	内部企画		1	0
	公共団体協賛		1	0
	大学間協賛		1	0
	評価点計			0
<b>研修会講師</b>				
	項目	回数	基本	評価点
	講師		1	0
	評価点計			0
<b>メディア</b>				
	項目	回数	基本	評価点
	新聞雑誌記事掲載		1	0
	テレビ出演		1	0
	ラジオ出演		1	0
	評価点計			0
	評価計			0

評価表

管理運営				
<b>学部委員会</b>				
項目	所属数	基本		評価点
委員長		2		0
委員		1		0
評価点計				0
<b>大学委員会</b>				
項目	所属数	基本		評価点
大学協議会		3		0
常設委員会		2		0
委員会		1		0
評価点計				0
<b>募集業務</b>				
項目	参加回数	基本		評価点
オープンキャンパス		1		0
出前授業		1		0
学校訪問		1		0
説明会		1		0
評価点計				0
<b>企業訪問</b>				
項目	訪問回数	基本		評価点
一日		1		0
半日		0.5		0
評価点計				0
<b>学内行事への参加</b>				
項目	欠席回数	基本		評価点
会議・行事の欠席		1.5		1.5
評価点計				1.5
<b>役職</b>				
項目	配点			評価点
役職				0
評価点計				0
評価計				1.5

総合評価			
学外実習無し		評価計	0
学外実習有り	看護	評価計	0
学外実習有り	看護以外	評価計	0

・東日本大震災への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に伴って年度当初のスケジュールの変更や被災地支援等本キャンパスにおいても様々な対応が行われた。以下にその主だったものを時系列で整理しておく。

月日	事 項	備 考
3/17	平成 22 年度卒業式が中止された。	
4/2	平成 23 年度入学式が中止された。	簡略化した内容を 4/21 に実施
4/4～	オリエンテーション、新入生セミナー等が中止、変更された。	
4/6	埼玉県加須市に避難中の福島県双葉町社会福祉協議会へ支援物資を届ける。	4/13 再訪問
4/13	淑徳大学東日本大震災支援ボランティアセンターが設置された。	千葉キャンパス内
4/19	教授会において東日本大震災に伴う淑徳大学緊急学費減免奨学金採用者 1 名が承認された。	
4/21～	3 週間遅れで平成 23 年度が開始となった。	
4/25～	平成 23 年度前期授業開講された。	
5/19～23	淑徳大学として実施した宮城県石巻市雄勝町大須地区へのボランティア活動の第 7 班として、本キャンパスの学生が参加した。	参加学生 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 09C045 神保千波</li> <li>▪ 08A039 関根洋平</li> </ul> 引率教員 藤森雄介
5/22～26	引き続き第 8 班として、本キャンパスの学生がボランティア活動に参加した。	参加学生 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 08A090 依田一樹</li> <li>▪ 09A402 澤口有紗</li> <li>▪ 09A405 藤野尚子</li> <li>▪ 09A406 堀井美穂</li> <li>▪ 10C076 田尻琢也</li> </ul> 引率教員 小倉常明
6/21	教授会において東日本大震災に伴う淑徳大学緊急学費減免奨学金採用者 5 名が承認された。	
7/24	平成 22 年度卒業式の代替として「2011 ホームカミングデー ～12 期生の卒業を祝う会～」が開催された。	参加者 卒業生 166 名を含む 244 名
10/30	本キャンパスサークルのグリークラブ、SMC が宮城県仙台市でボランティア活動を実施した。	高橋多喜子
11/5～7	本キャンパス強化クラブの卓球部が岩手県釜石市でボランティア活動を実施した。	

・卒業式表彰者

理事長賞

人間環境学科 08B083 堀 千晶

総代

人間環境学科 08A523 田所 昂

経営コミュニケーション学科 08B061 陳 天心

文化コミュニケーション学科 08C011 新井 美香

編入生 08C407 山中 沙織

浄土門主賞

人間環境学科 08A518 佐藤 由希

経営コミュニケーション学科 08B095 門馬 由香

文化コミュニケーション学科 08C182 金杉 知紀

編入生 08C401 飯島 織江

特別賞

人間環境学科 08A033 澤田 友里

文化コミュニケーション学科 08C017 石垣 優香

累積 GPA 表彰者

人間環境 07A043 小林 真人

人間環境 08A047 田中 夏貴

人間環境 08A051 千葉 瑛里奈

人間環境 08A509 織田 亜沙子

人間環境 08A510 片岡 真希

人間環境 08A513 小林 萌子

人間環境 08A514 小林 由樹子

人間環境 08A518 佐藤 由希

人間環境 08A523 田所 昂

人間環境 08A529 野口 晋平

経営コミュニケーション 08B061 陳 天心

経営コミュニケーション 08B083 堀 千晶

経営コミュニケーション 08C011 新井 美香

経営コミュニケーション 08C075 渋谷 友香

経営コミュニケーション 08C076 島田 亜沙美

経営コミュニケーション 08C096 谷内 理重

経営コミュニケーション 08C103 利岡 友希子

経営コミュニケーション 08C108 鳥居 香奈

経営コミュニケーション 08C144 松永 美樹

経営コミュニケーション 08C182 金杉 知紀

経営コミュニケーション 08C407 山中 沙織

・実習等実施状況

学 部	実習科目	実習先	人数	備 考
国際コミュニケーション学部	教育実習	幼稚園	3	
		小学校	32	
		中学校	20	
		高等学校	6	
	博物館学芸員実習	博物館	6	
	日本語教員教育実習	国内	3	
		国外	7	
	ソーシャルワーク実習		10	
	計	87		

・インターンシップ報告会の実施

国際コミュニケーション学部では平成 10 年より全学部的にインターンシップを実施している。平成 23 年度のインターンシップ実施状況は次のとおりである。国内インターンシップの受け入れ企業等が 36 社であり、履修学生数は 74 名である。

本学部のインターンシップにおいては毎回報告会を実施している。平成 23 年度の報告会は平成 23 年 12 月 6 日に行われ、4 実習先、4 名の学生が、翌年度以降にインターンシップ参加を控えた全学科の 1 年生全員及び教職員に向け、発表を行った。

・資格の取得状況

資格取得支援講座合格者数

(人)

講座名	22年度	23年度	備 考
1. 総合旅行業務取扱管理者講座	10	6	
2. 国内旅行業務取扱管理者講座	12	22	
3. 販売士 3 級講座	5	—	23年度開講予定対象外
4. 販売士 2 級講座	2	—	23年度規定人員に達せず開講なし
5. 秘書検定 2・3 級講座	2 級 3 3 級 1	4 —	23年度 3 級受験者なし
6. 宅地建物取引主任者	—	0	23年度新規開講

**宅地建物取引主任者**：宅地建物取引主任者は、宅地建物取引業者（一般にいう不動産会社）の相手方に対して、宅地または建物の売買、交換または貸借の契約が成立するまでの間に、重要事項の説明等を行う国家資格者。人生の中で最も大きな買い物となる不動産の売買、あるいは会社の命運を左右するかもしれない物件の賃貸契約など、責任とやりがいのある大きな取引に直接関わることができる資格である。

本年度は 18 名受験し合格者は 0 名、全国平均の合格率は 16.1%であった。

・卒業生等の進路状況

1. 国際コミュニケーション学部

卒業生 334 名のうち就職希望者は 262 名。就職内定者は 243 名。卒業生総数に対する就職内定率は 72.7%。就職希望者数に対する就職内定率は 92.7%。「就職希望しない」のうち、大学院進学 3 名。その他の進学 13 名。「就職の意思なし・不明」56 名。

国際コミュニケーション学部卒業生の進路状況 平成 23 年度(23 年 9 月、24 年 3 月卒業)

項目 / 学科	人間環境学科		経営コミュニケーション学科		文化コミュニケーション学科		学部計		
		増減		増減		増減		増減	
①卒業生	100	△40	80	△11	154	△21	334	△72	
②就職希望者	84	△35	60	△7	118	△8	262	△50	
就職希望比率 ②/①%	84.0%	△1.0%	75.0%	1.4%	76.6%	4.6%	78.4%	1.6%	
内 訳	③就職内定者	80	△29	52	△1	111	△3	243	△33
	(③/①)%	80.0%	2.1%	65.0%	6.8%	72.1%	7.0%	72.8%	4.8%
	(③/②)%	95.2%	3.6%	86.7%	7.6%	94.1%	3.6%	92.7%	4.2%
	④就職活動継続者	4	△6	8	△6	7	△5	19	△17
⑤就職を希望しない	3	△5	6	1	7	△1	16	△5	
内 訳	大学院進学	0	△6	2	2	1	△3	3	△7
	その他の進学	3	1	4	△1	6	2	13	2
⑥就職の意思無し ⑦不明	13	0	14	△5	29	△12	56	△17	

2. 大学院 国際経営・文化研究科

修了生 12 名のうち就職希望者 5 名。就職内定者は 5 名。修了者総数に対する就職内定率は 41.7%。就職希望者に対する就職内定率は 100%。「就職希望しない」のうち、大学院その他の進学 0 名。「就職の意思無し・不明」7 名。

3. 教員・公務員試験合格者数

(人)

	21 年度	22 年度	23 年度	備 考
1. 教員採用試験	7	43	20	臨時採用含む
2. 公務員試験	14	6	6	

## 4. 卒業生の就職先

### 公務員等

警視庁 埼玉県警察 長野県警察 栃木刑務所

### 企業分野

#### ■建設・不動産・製造・電力・運輸

(株)飯田 (株)加賀田組 (株)河野解体工業 (株)木下工務店 (有)彩友電工 (株)境組 (株)ジェーピーディー 東建コーポレーション(株) 深谷組 (株)YNハウジング ミサワホームセラミック(株) (株)アーネストワン (株)アエラス (株)S-FIT 明和地所(株) 日本賃貸保証(株) (株)長谷工コミュニティ ポラス(株) (株)レオパレス 21 (株)ワイズ・ワン (有)石狩和服裁縫所 伊澤タオル(株) (株)ハジメ 富士尾産業(株) 協和ステンレス(株) 大和冷機工業(株) 関東精密溶断(株) (株)東芝 本田技研工業(株) 三和包装資材(株) (有)ショーワ・エム 東京アート(株) 日本卓球(株) (株)丸八真綿 中央セントラルガス(株) 堀川産業(株) アーク引越センター(株) (株)ANA エアサービス東京 佐川急便(株) (株)ソクハイ (株)市ノ川電池興業 名古屋鉄道(株) (株)光通信 福山通運(株)

#### ■金融・保険

(株)伊予銀行 日本生命保険 (相)住友生命保険 (相)第一生命保険(株) (株)フィナンシャル・エージェンシー 明治安田生命保険 (相)

#### ■卸・小売

(株)フィットラボ (株)エフティコミュニケーションズ (株)ZEAL.G・P (株)フォルテ 栄光時計(株) (株)クワザワ 萬来フーズ(株) 昭光物産(株) サミット(株) (株)島忠 (株)スーパーバリュー 百円コンビニユーエスマート(株) ファームドゥ(株) イトキン(株) (株)エービーシー・マート (株)かねまつ (株)ギャラリー・ド・ポップ (株)クロスカンパニー (株)チヨダ (株)トゥモローランド はるやま商事(株) (株)パル (株)ファイブフォックス (株)ライトオン (株)アイ・ティ・ブリッジ (株)キタムラ (株)信英商事 (株)あさひ (株)梅田モーターズ (株)ガリバーインターナショナル 関東三菱自動車販売(株) (株)ケーユーホールディングス (株)三恵ホンダ販売 千葉スバル自動車(株) トヨタカローラ新埼玉(株) ネットトヨタつくば(株) (株)パティオ 広島日野自動車(株) Hondacars 埼玉南 (株)ホンダベルノ埼玉南 (株)あきんどスロー (株)インターブレインズ (株)王将フードサービス (株)きちり (株)サイゼリヤ (株)サリックストラベル (株)ジャパンデリカ タリーズコーヒージャパン(株) 東京キリンビバレッジサービス(株) (株)華屋与兵衛 (株)モンテローザ 大和フーズ(株) 養老乃瀧(株) ワタミフードサービス(株) (株)アルプスメディカル (株)オンデーズ (株)コスモビューティ (株)サダマツ (株)セキ薬品 (株)七葉 (株)メガネトップ (株)三城 (株)ライラック 石井貿易(株) (株)大宮電化 (株)カジメイク つるや(株) 日本トイザラス(株)

#### ■マスコミ・サービス・その他

入間ケーブルテレビ(株) (株)ジェイヴイコミュニケーションズ あさかハートフル歯科 (医) 社団青葉会牧野記念病院 上尾中央医科グループ 戸田中央総合病院 日本赤十字社埼玉県支部 (医) 社団日高会日高病院 (株)ホズミ 茨城県筑西市立上野小学校 (株)ABC Cooking Studio (株)クリップコーポレーション 埼玉県上尾市立中学校 埼玉県朝霞市立朝霞第八小学校 埼玉県所沢市内小学校 埼玉県所沢市立西富小学校 埼玉県飯能市立飯能第一小学校 埼玉県日高市立高萩小学校 埼玉県富士見市立勝瀬小学校 埼玉県富士見市立富士見特別支援学校 埼玉県ふじみ野市立西小学校 埼玉県所沢市立明峰小学校 埼玉県所沢市立山口小学校 狭山モーターズスクール(株) 千葉県市川市立菅野小学校 千葉県松戸市立幸谷小学校 (学) 爽青会専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 東京都大田区立德寺小学校 (学) 所沢精華学園すずらん幼稚園 ヒューカラーズ(株) (株)ファニーワーク (学) 増田学園ほんごう幼稚園 (株)いきいきらいふ (福) 育桜福祉会 (福) 馬橋福

社会 (福) 恩賜財団東京都同胞援護会 (福) 鶴風会 (株)木下の介護 (福) 共愛会 (福) 貴陽福祉会南花園 NPO 法人きらきら星狭山 ケアサポート(株) (株)ケア 21 (福)光陽会 セントスタッフ(株) 下野農業協同組合 (福) 章佑会 (福) 東京リハビリ協会 (株)ニチケ アパレス (福) 春風会 (株)ボンセジュール (福) 美里会 (福) みぬま福祉会 (福) みよしの会特別養護老人ホーム桜荘 ワタミの介護(株) シーアイティーエス・ジャパン(株) 東武トラベル(株) 水月(株) ヒルトン・ワールドワイド (株)ホテルはまのゆ アルファクラブ武蔵野(株) (株)いわさき (株)オータ (株)グッドコミュニケーションズ (株)クローバーインダストリーズ (株)SPICE SERVE セントラルスポーツ(株) (株)東祥 東和産業(株) (株)ヴァリック (株)不二ビューティ (株)ヘルセ (株)アイエスエフネット アイサーフ(株) インフォテック(株) オールインワンソリューション(株) 協立情報通信(株) (株)ゲイン (株)コミュニティー・マーカー (株)シリオ (株)ジュネス (株)ツリーベル データウェアネットワーク(株) パシフィックシステム(株) (株)トヨタレンタリース新埼玉 (株)トヨタレンタリース埼玉 ニッポンレンタカーアーバンネット(株)神奈川ディビジョン ディップ(株) トライモア(株) (株)ビプロス プロパーユナイテッド(株) (株)ブリックス (株)FrontierMind (株)ウエスト 管清工業(株) (株)サイボウ (株)スタジオアリス (株)清和ビジネス セントラル警備保障(株) 総合警備保障(株) (株)藤和設計 (有)ボディショップアイハラ 毎日興業(株) (株)メディカルアドバンス (株)ユニティー

### 3 研究活動

#### ・科学研究費補助金等の受給状況

##### 1. 平成 23 年度 日本学術振興会科学研究費補助金

##### 国際コミュニケーション学部

(単位：千円)

研究種目	研究者	区分	課題内容	23 年度 直接/間接	24 年度 直接/間接	25 年度 直接/間接
基盤研究 C	山口 光治	継続	高齢者虐待防止のための養護者支援方法論に関する実証的研究	400/120	700/210	-
基盤研究 C	加藤 尚裕	継続	メタ認知の働きを活用した問題解決能力の育成に関する指導法の開発	600/180	800/240	-
基盤研究 C	藤森 雄介	新規	大念仏寺社会事業団所蔵史料を活用した戦後仏教社会事業の展開に関する事例的研究	1,200/300	700/210	800/240
挑戦的萌芽研究	松岡 秀明	新規	終末期医療で看護師が体験する困難患者の自己決定を支えるためのケアをめざして	1,100/330	600/180	-
学術出版	宮川 葉子	新規	柳澤家の古典学(下)－文芸の諸相と環境－	3,100	-	-

#### ・学内で開催された学会など

埼玉みずほ台キャンパス

淑徳大学国際コミュニケーション学会 平成 24 年 2 月 22 日

#### 4 社会貢献活動

##### ・2011 淑徳大学・文京学院大学共催公開講座「今あらためて『健康』を問い直す」

###### 1. 平成 23 年 10 月 1 日 (土)

場 所：文京学院大学 ふじみ野キャンパス

テーマ：人とのつながりを結びなおす

講演 1 「福祉社会と健康」

淑徳大学 国際コミュニケーション学部 教授 永江 総宜

講演 2 「心の健康、家族とのよりよいつきあい方」

文京学院大学 人間学部 教授 伊藤 英夫

###### 2. 平成 23 年 10 月 8 日 (土)

場 所：淑徳大学 埼玉みずほ台キャンパス

テーマ：健康神話の落とし穴

講演 1 「運動は健康に欠かせないものなのか？」

文京学院大学 人間学部 助教 青木 通

講演 2 「健康に欠かせない皮膚のケア」

淑徳大学 看護学部 教授 田中 秀子

##### ・淑徳大学/みよしコミュニティカレッジ 2011

会場 淑徳大学 埼玉みずほ台キャンパス

###### 1. 「スポーツレクリエーション講座」(全 3 回) 講師 西田俊夫

・10 月 31 日 バーンゴルフ

・11 月 7 日 フライングディスク、インディアカ

・11 月 14 日 ミニテニス、インディアカ、バスケットピンポン

###### 2. 「異文化を学ぶ」(全 5 回)

・11 月 12 日(土) 二つのヨーロッパ アルプスの「こちら」と「むこう」

講師 淑徳大学 准教授 宮寄麻子

・11 月 19 日(土) 親の夢・こどもの夢 ―現代イギリス社会の価値観

講師 淑徳大学 教授 赤崎美砂

・11 月 26 日(土) 中国人 名前のタブー 現代に伝えられる「避諱(ひき)」

講師 淑徳大学 教授 小川博章

・12 月 10 日(土) 韓国から見た日本人と日本から見た韓国人

講師 淑徳大学 教授 渡部治

・12 月 17 日(土) ハワイのシンプルライフ ―ポイとロコモコ、フラとマナ

講師 淑徳大学 教授 高橋弘

###### 3. 「日本の三つの中華街」(全 3 回) 講師 岩村沢也

・3 月 2 日(金) 長崎 唐人屋敷から新地中華街へ (江戸から続く中国文化)

・3 月 9 日(金) 横浜中華街

(明治・大正・昭和の戦争・震災・革命の激動を超えて)

・3 月 16 日(金) 池袋チャイナタウン+新大久保コリアンタウン

(平成の新華僑と K-POP・韓国料理の街)

##### ・夏休み三芳町探検隊

「淑徳大学に遊びに行こう」

平成 23 年 8 月 7 日(日)

内容 小学生と大学キャンパスツアー、夏休みの宿題相談会、パネルシアター

・所沢市大学連携共催セミナー

- 「源氏物語への誘い」(全10回) 講師 宮川葉子  
平成23年10月4日(火)～12月20日(火)  
場所 所沢市生涯学習推進センター  
内容 「源氏物語」～そのよみどころ

5 学生の活動

・課外活動の成績

(団体)

全日本大会等

ソフトボール部

- ・第63回全日本総合女子ソフトボール選手権大会県予選(埼玉県ソフトボール協会) 2位

卓球部

- ・平成23年度全日本卓球選手権大会(団体の部)(日本卓球協会)優勝

全日本学生大会等

ソフトボール部

- ・第19回関東学生ソフトボール選手権大会 兼 第46回全日本大学ソフトボール選手権大会関東地区予選会 優勝
- ・第46回全日本大学ソフトボール選手権大会(全日本大学ソフトボール連盟)ベスト16
- ・第26回東日本大学ソフトボール選手権大会(東日本大学ソフトボール連盟)ベスト16
- ・第42回関東大学ソフトボール選手権大会(関東大学ソフトボール連盟)ベスト4
- ・第6回関東学生女子ソフトボール春季リーグ(関東学生ソフトボール連盟)4位
- ・第11回関東学生女子ソフトボール秋季リーグ(関東学生ソフトボール連盟)2位
- ・春季埼玉リーグ(埼玉県ソフトボール協会)優勝

卓球部

- ・第81回全日本大学総合卓球選手権大会(日本学生卓球連盟)優勝
- ・平成23年度春季 関東学生卓球リーグ戦(関東学生卓球連盟)3位
- ・平成23年度秋季 関東学生卓球リーグ戦(関東学生卓球連盟)2位

女子柔道部

- ・平成23年度全日本学生柔道優勝大会(東京学生柔道連盟)出場
- ・第3回全日本学生柔道体重別団体優勝大会(全日本学生柔道連盟)ベスト8
- ・平成23年度関東学生女子柔道優勝大会(関東学生柔道連盟)3位
- ・第8回KOB E 自他共栄CUP 学生柔道大会(兵庫県学生柔道連盟)3位

バドミントン部

- ・第54回東日本学生バドミントン選手権大会(全日本学生バドミントン連盟)男女出場
- ・関東学生バドミントン新人選手権大会(関東学生バドミントン連盟)男子出場
- ・関東学生バドミントン秋季リーグ(関東学生バドミントン連盟)  
男子の部3部A3位、女子の部4部B3位

#### 硬式野球部

- ・東京新大学野球春季リーグ戦（東京新大学野球連盟）3部1位（2部昇格）
- ・東京新大学野球秋季リーグ戦（東京新大学野球連盟）2部3位

#### 軟式野球部

- ・首都大学軟式野球春季リーグ戦（首都大学軟式野球連盟）1部6位（2部降格）
- ・首都大学軟式野球秋季新人戦（首都大学軟式野球連盟）出場

### （個人）

#### 世界大会等

##### 卓球部

- ・世界卓球選手権 ①2011 ロッテルダム大会 女子シングルス出場・ダブルスベスト16 石垣 優香 ②2012 ドルトムント大会 団体日本代表 石垣 優香
- ・ITTF プロツアー ①ジャパンオープン 女子シングルス・ダブルス出場 石垣 優香、女子アンダー21 シングルス出場 松澤 茉里奈 ②中国オープン シングルス・ダブルス・女子アンダー21 シングルス出場 松澤 茉里奈 ③韓国オープン 女子シングルスベスト8・女子ダブルス3位 石垣 優香、女子シングルス・アンダー21 シングルス出場 松澤 茉里奈
- ・第26回ユニバーシアード競技大会（日本代表）団体2位 石垣 優香・松澤 茉里奈、女子シングルス出場 石垣 優香・松澤 茉里奈、女子ダブルスベスト8 松澤 茉里奈・出場 石垣 優香、ミックスダブルス2位 石垣 優香

##### 女子柔道部

- ・2011 パリ世界柔道選手権 52kg級2位 西田 優香（大学院）
- ・世界ジュニア柔道選手権大会 2011 63kg級優勝 太田 晴奈
- ・ワールドカップ済洲 63kg級2位 太田 晴奈
- ・フランスジュニア国際大会 63kg級出場 太田 晴奈

##### バーンゴルフ部

- ・ミニゴルフアジア選手権大会 2011（日本代表）個人男子出場 佐藤 一哉・金井 孝幸、個人女子 若野 広美

#### 全日本大会等

##### 卓球部

- ・平成23年度全日本卓球選手権大会（日本卓球協会）女子シングルス8位 石垣 優香・9位 松澤 茉里奈・ベスト32 大庭 咲陽子、女子ダブルスベスト32 白鳥 舞・松澤 茉里奈
- ・第66回国民体育大会卓球（県別団体）ベスト8 千葉県 白鳥 舞

##### 女子柔道部

- ・平成23年度埼玉県ジュニア柔道体重別選手権大会（埼玉県柔道連盟）52kg級3位 北川 真奈
- ・第14回関東女子ジュニア柔道体重別選手権大会兼関東地区予選（関東柔道連合会）63kg級優勝 太田 晴奈、70kg級2位 川戸 郁香
- ・平成23年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会（全日本柔道連盟）63kg級2位 太田 晴奈、70kg級5位 川戸 郁香
- ・平成23年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会（全日本柔道連盟）63kg級3位 太田 晴奈

- ・埼玉県女子柔道選手権大会（埼玉県柔道連盟）3位 下田 美紗季、5位 川戸 郁香
- ・関東女子柔道選手権大会（関東柔道連合会）8位 川戸 郁香

#### バーンゴルフ部

- ・第15回バーンゴルフ日本選手権大会兼ミニゴルフ世界選手権代表選手選考会（日本バーンゴルフ協会）  
男子の部4位 佐藤 一哉、5位 金井 孝幸  
女子の部4位 若野 広美、6位 神垣 萌実  
佐土原 博子
- ・第8回日本聴覚障がい者陸上競技選手権大会 100m 1位（大会新・日本聾啞新記録）、200m 1位

### 全日本学生大会等

#### 卓球部

- ・第78回全日本大学総合卓球選手権大会（日本学生卓球連盟）  
女子シングルス優勝 松澤 茉里奈・2位 石垣 優香・11位 大庭 咲陽子、女子ダブルスベスト16 松澤 茉里奈・白鳥 舞
- ・第8回全日本学生選抜卓球選手権大会（日本学生卓球連盟）  
女子シングルス4位 石垣 優香・ベスト16 松澤 茉里奈
- ・平成23年度関東学生卓球選手権大会（関東学生卓球連盟）  
女子シングルスベスト16 馮 叶、女子ダブルスベスト8 白鳥 舞・大庭 咲陽子

#### 女子柔道部

- ・平成23年度関東学生女子柔道体重別選手権大会（関東学生柔道連盟）  
48kg級5位 千原 瑞紀、52kg級3位 澤田 友里、63kg級優勝 太田 晴奈、70kg級3位 川戸 郁香・5位 塚越 加奈、78kg級3位 下田 美紗季・4位 澤田 朱里
- ・平成23年度全日本学生柔道体重別選手権大会（全日本学生柔道連盟）  
52kg級2位 澤田 友里、63kg級2位 太田 晴奈、78kg級ベスト8 下田 美紗季
- ・平成23年度第7回埼玉県学生女子柔道大会（埼玉県柔道連盟）  
48kg級優勝 小原 優紀・2位 千原 瑞紀、52kg級優勝 北川 真奈・2位 佐藤 千夏、57kg級優勝 清水 真紬、63kg級3位 坂中 明穂、70kg級優勝 塚越 加奈・2位 新井 かおり、78kg級優勝 下田 美紗季

- ・平成23年度 「大乘淑徳学園スポーツ・文化研究奨励賞」 受賞者

授与式：大乘淑徳学園 平成24年賀詞交歓会 平成24年1月5日(木)

#### 【スポーツ部門】

#### 最優秀奨励賞

部門名	サークル名・個人名	学年	功 績		
大学 (みずほ)	松澤 茉里奈	2	H23. 10	第78回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人) 女子シングルス	優勝
	卓球部	—	H23. 10	平成23年度全日本卓球選手権大会(団体) 女子	優勝

授与式：淑徳大学みずほ台キャンパス 1-211 教室 平成 24 年 1 月 24 日(火)

### 優秀奨励賞

部門名	サークル名・個人名	学年	功 績		
大学 (みずほ)	石垣 優香	4	H23. 10	第 78 回全日本大学総合卓球選手権大会 (個人) 女子シングルス	2 位
	澤田 友里	4	H23. 10	平成 23 年度全日本学生柔道体重別選手権大会 女子 52kg 級	2 位
	太田 春奈	1	H23. 10	平成 23 年度全日本学生柔道体重別選手権大会 女子 63kg 級	2 位

### 奨励賞

部門名	サークル名・個人名	学年	功 績		
大学 (みずほ)	下田 美紗季	3	H23. 10	平成 23 年度全日本学生柔道体重別選手権大会 女子 63kg 級	ベスト 8
	川戸 郁香	2	H23. 9	平成 23 年度全日本ジュニア柔道体重別選手 権大会 女子 70kg 級	5 位
	貝沼 麻衣子	卒	H22. 11	平成 22 年度講道館杯全日本柔道体重別選手 権大会 女子 63kg 級	ベスト 8
	白鳥 舞	3	H23. 10	第 66 回国民体育大会 卓球 (県別団体) 千葉県	ベスト 8
	女子柔道部	—	H23. 10	平成 23 年度全日本学生柔道体重別団体優勝 大会 団体女子	ベスト 8

### 【ボランティア・社会活動部門】

#### 最優秀奨励賞

部門名	サークル名・個人名	学年	功 績		
大学 (みずほ)	関根 洋平	4		平成 23 年 3 月 11 日 東日本大震災に関わる 復興支援・教育支援など	
	依田 一樹	4			
	澤口 有紗	3			
	藤野 尚子	3			
	堀井 美穂	3			
	新井 晶子	3			
	関 友希子	3			
	矢田部建佑	3			
	神保 千波	3			
	松島 沙羅	2			
	森山みどり	2			
	細川 芽生	2			
	田尻 琢也	2			

## 6. その他

### ・平成 23 年度の施設・整備事業

体育館外壁補修工事を行い、安全性・美観の向上がされた。また、体育館内のシャワールーム・トイレの改修工事を行い、利便性・清潔感の向上がされた。

2号館1階の学生ホールの改修工事を行い、学生の利用増加・利便性・美観の向上がされた。

### ・経営学部設置

平成 24 年度 4 月開講に向けて伊藤忠治教授を委員長とし、経営学部設置準備委員会が発足した。8月に文部科学省より届出設置が承認され、同月より経営学部経営学科および観光経営学科の募集が開始された。